



第6章 地域連携研究と研究成果の発信

木村, 修二 ; 坂江, 渉 ; 河島, 真 ; 松下, 正和 ; 井上, 舞 ; 古市, 晃 ; 前田, 結城

(Citation)

歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業, 16(平成29年度事業報告書):53-55

(Issue Date)

2018-03-16

(Resource Type)

report part

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81010247>



第6章

地域連携研究と研究成果の発信

地域連携センター年報『LINK【地域・大学・文化】』の刊行

2017年12月27日付で第9号を発行した。特集「地域歴史文化をめぐる〈場〉—つながりを生み出す環境づくり—」を編んだほか、史料紹介1本、時評・書評・展示評を4本、フィールドリポートを3本、LINKを読むを2本などを掲載した。

構成
 特集 地域歴史文化をめぐる〈場〉—つながりを

生み出す環境づくり—

編集委員会 特集にあたって

石野律子 村が経糸、会が緯糸となって織り成す〈場〉としての栄村歴史文化館

進藤輝司・川内淳史 三木市における地域歴史文化の〈場〉—三木古文書研究会と市史編さん—

井上舞 石川家文書をとりにまく〈場〉—朝来市生野町の取り組みから—

大津留厚 青野原をめぐる地域連携とハプスブルク史研究—15年目の総括—

史料紹介

前田結城 明石市立文化博物館所蔵黒田家文書「慶応四戊辰年日記」

フィールドリポート

氷上古文書同好会 氷上古文書同好会の活動の経緯—結成から区有文書目録の完成まで—

辻川敦 尼崎市制100周年記念『たどる調べる尼崎の歴史』の刊行—尼崎市の市史編集事業の総括として—

善見壽男 富松城跡の保存と活用による地域づくりの取り組み

『LINK』を読む

大黒俊二 外国史は地域に貢献しうるか？

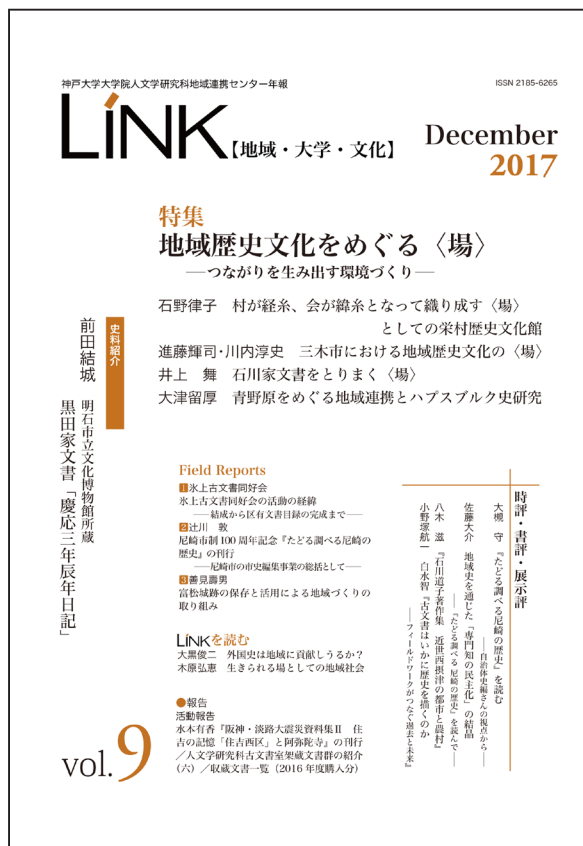
木原弘恵 生きられる場としての地域社会

時評・書評・展示評

大槻守 『たどる調べる尼崎の歴史』を読む—自治体史編さんの視点から—

佐藤大介 地域史を通じた「専門知の民主化」の結晶—『たどる調べる 尼崎の歴史』を読んで—

八木滋 『石川道子著作集 近世西摂津の都市と農村』



小野塚航一 白水智『古文書はいかに歴史を描くのかーフィールドワークがつなぐ過去と未来』活動報告

水本有香『阪神・淡路大震災資料集Ⅱ 住吉の記憶「住吉西区」と阿弥陀寺』の刊行

木村修二 人文学研究科古文書室架蔵文書群の紹介(六)

木村修二 人文学研究科古文書室収蔵文書一覧(2016年度購入分)

(文責・木村修二)

地域連携センターを研究基盤とする、および地域連携センタースタッフによる日本学術振興会科学研究費補助金研究(研究代表に限る)

- ・平成28年～30年度科学研究費助成事業・基盤研究(C)「現地調査を踏まえた「荒ぶる神」の鎮祭伝承の共同研究」(研究代表者・坂江渉)
- ・平成28～30年度科学研究費補助金・基盤研究(C)「有末機関の研究ー有末精三新史料から見る占領初期のGHQと日本陸軍ー」(研究代表者・河島真)
- ・平成28～30年度科学研究費補助金・基盤研究(C)「近世南海地震記録の現代語訳化；防災・減災活動への現地的活用にもつれた実践的研究」(研究代表者・木村修二)
- ・平成29～32年度科学研究費補助金・基盤研究(C)「自治会保管古文書の恒久的保全体制構築に関する研究」(研究代表者・松下正和)

講演会・市民講座等

多可町おもしろ歴史セミナーでの講演

2016年7月11日に、那珂ふれあい館で開催された、多可町おもしろ歴史セミナー(多可町文

化遺産活用実行委員会・多可町教育委員会主催)において、「明治時代の樺坂鉦山一生野に残された資料からー」と題した講演を行った。

(文責・井上舞)

ゆずりは歴史散歩倶楽部での講演

2016年10月2日に、福崎高校和親館で開催された、ゆずりは歴史散歩倶楽部第2回例会において、「地名に見る古代から近世の福崎」と題した講演を行った。

(文責・井上舞)

※以上2件は、昨年度報告書収載漏れにつき本報告書に収載

現地学習会「歴史から学ぶ防災2016」における報告

2017年2月26日(日)、和歌山県由良町中央公民館大研修室を会場に、現地学習会「歴史から学ぶ防災2016」(主催・和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会、和歌山県立博物館)が開催(25・印南町～26日・由良町)され、木村が「由良町の安政地震津波記録の諸本」と題する報告を行った。

(文責・木村修二)

※上記は、昨年度中のイベントだが、昨年度報告書原稿締め切り後だったため、本報告書に収載

日経丸キャリTRAVEL

2017年4月11日、日本経済新聞社主催の「第14回 丸キャリTRAVEL～奈良を知る。日本を知る。～」(東京都千代田区 日経ホール)にて、「大化改新、王族を取り巻く人間模様」と題して講演をおこない、トークセッションに参加した。

(文責・古市晃)

いひほ学研究会総会

2017年5月14日、いひほ学研究会主催の同会総会(揖保川公民館)において「伊和大神の実像ー」と題して講演をおこなった。

(文責・古市晃)

平成 29 年度生涯学習カレッジ・リバグレス猪名川

2017 年 7 月 8 日、猪名川町教育委員会主催の「平成 29 年度生涯学習カレッジ リバグレス猪名川」(猪名川町中央公民館)において、「猪名川流域の古代氏族」と題して講演をおこなった。

(文責・古市晃)

「竹田城跡保存会」総会での講演

2017 年 7 月 15 日(土)、[朝来市]竹田会館において、「地域歴史遺産を見つける 守る 活かす つなぐ」と題した講演を行った。

(文責・井上舞)

三木シルバーいきいき教室での講演

2017 年 7 月 18 日(火)三木氏中央公民館主催の「三木シルバーいきいき教室」において「古文書とふれあう～楽しい古文書解読について～」と題した講演をおこなった(於同館)。

(文責・前田結城)

秦氏を考えるシンポジウム 2017

2017 年 9 月 18 日、赤穂市教育委員会主催の「秦氏を考えるシンポジウム 2017」(赤穂市文化会館)において、「播磨の秦氏と吉備の秦氏」と題して講演をおこない、パネルディスカッションに参加した。

(文責・古市晃)

TAMBA シニアカレッジにおける講座

2017 年 12 月 1 日(金)、兵庫県丹波市柏原住民センターを会場に、平成 29 年度「TAMBA シニアカレッジ」丹波市②が開講され、木村が、「古文書からのぞく丹波市域の江戸時代～農作物への獣害と対策～」と題する講座を行った。

(文責・木村修二)

赤穂市立図書館歴史と文学の講座

2017 年 12 月 12 日、赤穂市立図書館主催の「歴

史と文学の講座」(赤穂市立中央図書館)において、「聖徳太子の実像をめぐって」と題して講演をおこなった。

(文責・古市晃)

宮水学園での講演

2018 年 2 月 2 日(金)、西宮市生涯学習大学「宮水学園」歴史講座において、「西郷隆盛」と題した講演をおこなった(於鳴尾公民館)。

(文責・前田結城)

歴博共同研究『聆涛閣集古帖』の総合資料学的研究 第 4 回研究会における報告

2018 年 2 月 12 日(月)、神戸市東灘区の住吉歴史資料館において、国立歴史民俗博物館共同研究『聆涛閣集古帖』の総合資料学的研究 第 4 回研究会が開催され、木村が「近世における住吉村吉田家について」と題した報告を行った。

(文責・木村修二)